



【拓南中学校】

＜防災教育「自分の命を守り、地域の力となろう」～自助・公助・共助～＞

第1学年：自助

「身の回りで発生する災害とその恐ろしさについて調べよう」

ハザードマップ等を利用し、洪水が起きたときにどのような行動をとればよいか考えたり、避難時の持ち物、避難経路などについて話し合ったりした。「マイ・タイムライン」を作成した。とるべき行動を考えていく中で、家族を思いやる気持ちや、自分の命は自分で守るという意識が高まった。



第2学年：公助

「防災に備えた安全な街づくりをしよう」

災害時の市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助について消防士や看護師の仕事を通して学んだ。東消防署の方を講師に迎え、災害時・緊急時に少しでも自分のできることを増やしていこうと、救命救急講習を受講した。緊急時に、冷静に行動することの大切さを学んだ。



第3学年：共助

「災害発生時と災害からの復興に向けて自分たちはどうあるべきか考えよう」

東日本大震災や西日本豪雨災害の被災地で災害発生時から復興に向けて、中高生がどんな取組をしているかを調べたり、避難所運営ゲーム（HUG）を実施したりした。避難所で、中学生としてできることがたくさんあることを理解し、考えることができた。

＜第1学年の取組：「地域の高齢者と交流を深めよう。」＞

高齢者への接し方を学び、認知症サポーター講座を受講した。地域のお年寄りにメッセージカードを製作し、高齢クラブの協力を得て配布した。今年度も、生徒が直接お渡しすることができず、残念であった。



＜福祉委員会の取組＞

福祉委員が、地域の方と一緒に、「和田重次郎」像のある「オーロラ遊歩道」の清掃をしたり、花の苗を植えたりした。地域の偉人について知る良い機会となり、さらに自分たちの地域を大切にすることを育めた。

